

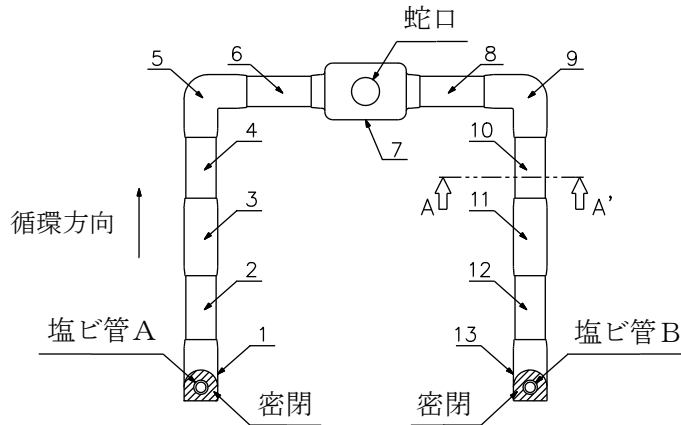
リフォームダクト J D  
性能試験報告書

2020年 1月 31日

因幡電機産業株式会社  
開発統括部

## 1. 防露試験

所定条件に設定した恒温恒湿槽に下図に示す試料を入れ、塩ビ管に冷水を満水状態で 30 分間循環させた後、試料表面の結露状態を観察した。



試料名	試料 No.
リフォームダクト(屋内用)	2,4,6,8,10,12
平面エルボカバー90°	5,9
立面インコーナー90°	1,13
ジョイントカバー	3,11
給水栓用チーズカバー	7

### (1) 試験条件

温度	相対湿度	管内条件	
		水温	流量
30 °C	70 %	7 °C	15 l/min

### (2) 試験結果

	JD-13(屋内用)	JD-20(屋内用)
塩ビ管(収納配管)	HIVP-13	HIVP-20
試料表面の結露	無	無

注) 塩ビ管(収納配管)の表面は結露有り(測定後カバー外し確認)

カバー内の空気層と発泡成形カバー(発泡倍率:約 2 倍)による断熱効果で、カバーの表面温度は、配管内の水温(冷水)より、外気温による影響が大きいと考えられる。

従って、カバー表面の著しい温度低下が生じなかったため、カバー表面が結露しなかった。

## 2. 耐候性試験

リフォームダクト JD 用塩化ビニル製試験片を促進耐候試験にかけ、時間の経過に伴う物性の変化状況を調べました。

### (1) 試験項目

促進耐候試験を 0～2000 時間行い、200 時間毎に下記の項目について測定する。

- ・引張り強さ
- ・曲げ最大応力

### (2) 試験片

- ・引張り試験用: JIS K 6745 に準ずる。
- ・曲げ試験用: JIS K 7203 に準ずる。

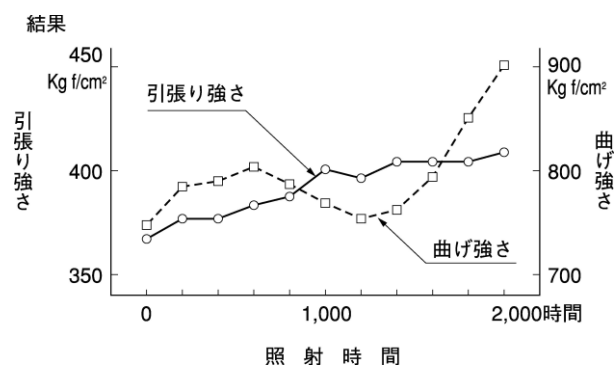
### (3) 試験装置

- ・促進耐候試験機: サンシャインカーボンウェザーメーター  
照射時間は JIS D 0205 に準ずる。
- ・強度試験機: いずれも、京都市工業試験場設備

### (4) 結果

試験結果を以下に示す。

2000 時間で、割れ、クラック等の異常無し。



### 3. 耐熱給湯試験

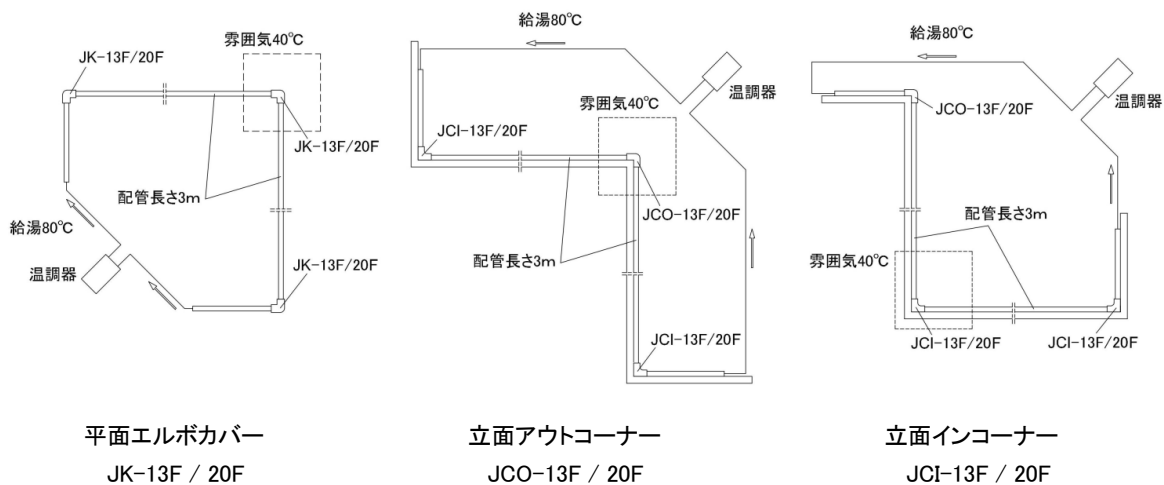
樹脂管内の水温を 20℃から 80℃まで上げて 15 分流し続けた後、15℃まで冷却し、コーナーパーツのカバーの外れの有無を確認する。

< 試料 >

コーナーパーツ	JK-13F	JCO-13F	JCI-13F	JK-20F	JCO-20F	JCI-20F
ダクト	JD-13N(カバー未発泡タイプ)			JD-20N(カバー未発泡タイプ)		
パイプホルダー	JRH-13H			JRH-16H		
配管	樹脂管 13A(保温材 5mm)			樹脂管 16A(保温材 5mm)		

#### (1) 試験条件

- ・外気温 : 23℃
- ・雰囲気温度 : 40℃
- ・水温 : 初期 20℃→80℃(15分)→15℃
- ・直線配管距離 : 3m
- ・パイプホルダー位置 : JD ダクトの両端部(コーナーパーツ近傍 30mm 以内)及び、中間部はピッチ 1m 以内で設置。(3m 配管に対して 4 個)



#### (2) 試験結果

コーナーパーツ	JK-13F	JCO-13F	JCI-13F	JK-20F	JCO-20F	JCI-20F
カバー外れ	無し	無し	無し	無し	無し	無し

水温 80℃において、コーナーパーツのカバーの外れが無い事を確認した。

※上記は自社試験データです。実施工での性能を保証するものではありません。